

平成30年度第3回京丹波町地域包括ケア推進委員会 議事概要

日時：平成31年3月26日（火）13時30分～15時20分

場所：瑞穂保健福祉センター2階 集団指導室・健康学習室

出席委員：17名

欠席委員：2名

1. 開会

2. 委員長あいさつ

出席のお礼。本日は、第3回目ということで、今年度最後の委員会となる。

本委員会は、福祉の中核的な委員会であり、皆さんには、京丹波町の中で、高齢になっても、障害があっても、幸せに暮らせる町にしていきたいという気持ちで出席いただいております、心から感謝申し上げます。

とりわけ、本町は高齢化が進んでいるが、高齢化が進んでいるというよりも若い人がいない。今後高齢者数は減少するが、若者がいないため、高齢化率は上がる。そういう意味では特に、本日、ご出席の高齢者施設の皆さんにおいては、今後さらに、色々ご苦労いただくことがあるかと思われる。

当委員会では、皆さんに色々なことについて提案させていただいているが、本日も忌憚の無いご意見をお願いしたい。

3. 協議事項)

協議経過	
発言者	発言内容
事務局	<p><u>協議事項(1)第7期介護保険事業計画等の進捗状況の報告及び評価について説明</u></p> <p>●計画の施策関係 資料1-1 資料1-1参考資料</p> <p>※第7期計画に掲げた基本施策(15項目)について、平成30年度の主な取組及び評価、改善策等について報告</p>
委員	<p>評価指標の平成30年度の実績値は今年度の予想値か、例えば11ヶ月分等の実績値か。</p>
事務局	<p>施策の担当がそれぞれ異なり統一まではできていないが、当資料を作成したのが2月下旬から3月上旬であり、概ね、その時点での予想値である。</p>
委員	<p>資料6ページの「(3)京丹波町「命のカプセル」事業」について、1,310件の実績となっているが、5年程前、登録内容の更新がされていないケースがあった。登録内容の更新の予定はないか。</p>
事務局	<p>変更が必要であることが判明した時点で民生児童委員等から声かけはしていたが、一斉更新の取組まではできていない状況である。</p>
委員	<p>資料6ページの「(2)災害時要援護者支援事業」について、今年度災害が多く発生したが、地域の消防団活動の中では、新規で登録された方がどこにおられるのかまではわからなかった。どのように情報共有を行えばよいのか。支援が必要な方に対して、どのような方が支援を行えばよいのか教えてほしい。</p>
事務局	<p>要援護者台帳システムは、保健福祉課と危機管理室が管理しており、消防団への情報提供については、危機管理室の判断になると考える。民生児童委員には名簿の提供を行っている。昨年度の災害等を受け、これまで区長や消防団、民生児童委員との連携が図れていなかったということを踏まえ、昨年末より、3者の代表による意見交換を行っている。年度替りによる役員交代もあると思われるが、引き続き協議を継続し、避難所開設のあり方等について検討していきたい。立ち上げ段階であり、課題等もあるが、状況として報告させていただく。</p>
委員	<p>今の件に関連して、個人情報の関係から、民生児童委員が把握している要援護者の名簿を区長に対し情報提供できないという課題がある。まずは、区長との話</p>

事務局	<p>し合いにより、区長が交代されても要援護者名簿が引き継がれるような体制作りが必要でないか。</p> <p>民生児童委員が把握されている情報については守秘義務が発生するため、どう いう形で連携が図れるかという点が課題である。昨年度の災害時においても、公 民館等を避難所として開設いただいても避難者が来られなかったということや、 民生児童委員が支援が必要と思われた方があっても、どの消防団に頼んでよいか わからないといった課題があり、これを機に連携方法を模索することとなった。</p> <p>その中で、地元の方が、地域の方をよく知っておられるため、民生児童委 員や消防団等が同じ認識の元、自主防災組織を立ち上げていけないかというこ とを話し合っているところである。</p>
委員	<p>資料5 ページの認知症施策について、主要施策の「(2) 認知症の予防」欄に 認知症カフェの取組が記載されているが、「(3) 認知症本人や家族への支援」の 分野に該当するのではないか。</p> <p>認知症カフェを実施する中で、現在、支援対象となっているのは認知症の当事 者であるが、実はその前に、介護者がいるということを認識して認知症支援に取り 組んでいかなければならない。</p> <p>また、昨年取組の中で、介護者像が変わってきていることを認識した。就労 中の介護者や男性介護者が増えている。男性介護者のみの交流会を実施したとこ ろ、女性ばかりの集まりには参加しにくく、もっと早くこのような集まりをして 欲しかったという意見が出ていた。介護者の実態を知って取り組む必要がある。</p> <p>各施設の中でも家族会等は設置されていると思うが、必要なのは、入所前の初 期の認知症の方の介護者への支援である。事前に介護の知識を持つことで、認知 症の方への適切な介護を行うことができる。地域の中で認知症になっても安心し て暮らせるように、誰もが介護者になるかもしれないという予測の元に、重点を 置いて取り組んでいただきたい。</p>
事務局	<p>今、委員が言われたとおりと考える。利用者同士の交流によって認知症予防が 図られていると考え、「(2) 認知症の予防」に上げたが、認知症カフェの開催に よって、当事者や家族への支援も行っている。</p> <p>私自身、男性介護者の集まりに同席し、就労中の介護者が増えており、色々な 悩みを抱えておられることを実感した。いただいた意見を参考に今後の取組に生 かしていきたい。</p>
委員長	<p>社会の状況によって実態が変わってきており、1つの方向性で良いという時代</p>

	<p>ではなくなってきている。実態に即した研修や交流会等が必要である。以前は、介護者は女性が多かったが、現在は、男性が一人で在宅介護をされているケースも多い。委員が言われた視点も重要になってきている。計画に沿った取組を進めながら、良い取組は積極的に取り入れていただきたい。</p>
委員	<p>資料4ページの「(2) 外出支援サービス」について、本年10月に消費税が増税となるが、福祉有償運送運営協議会は10月以前に開催されるのか。</p>
事務局	<p>担当からは消費税増税の認識は持っている旨を確認しているが、開催時期については未定である。</p>
事務局	<p>●介護サービス関係 資料1-2 ※平成30年3月～11月までの介護サービスの利用実績等について報告</p>
委員	<p>資料3ページの居宅療養管理指導について、今実施されているのは訪問診療だけか。</p>
事務局	<p>歯科診療の訪問に加え、薬剤師による薬剤投薬による指導も徐々に増えてきている。栄養士については、現時点では、ニーズが浸透していないように思われる。</p>
委員	<p>以前、ショートステイの利用枠が取れないということを知ったが最近はどうか。介護者が病気になるなど、突然利用が必要になった場合には、相談は可能か。</p>
委員	<p>ケアマネジャーの立場から回答させていただく。事業所によって部屋数が異なるため難しいこともあるが、長く利用されている方は、その方の状況や家族構成等もわかってくるため、相談しやすく受け入れてもらえることもある。一方で、新たに関わる方については、すぐに受けってもらうことが難しいこともある。</p> <p>しかしながら、各施設とも柔軟に相談にはのっていただけるため、難しいという状況ではないと考える。まれに空いている場合もあり、何とかつなぐことができてきている状況である。</p>
事務局	<p>協議事項(2) 平成31年度の介護予防・日常生活支援総合事業について説明 資料1-2 ※みんな・おいデイ等廃止後の平成31年度の総合事業の体系等について報告</p>
委員	<p>制度改正によって、ヘルパーの訪問時間が1時間から45分に短縮されたが、</p>

事務局	<p>利用者から短時間で困る等の相談はないか。</p> <p>1時間未満が45分未満に改正された際には、事業所からも利用者からも会話する時間もない等の苦情があり、現場も苦勞されたと思われる。現在は、規定時間内でサービス提供が難しい場合は、サービスの見直しを行ったり、ヘルパー以外の助け合い事業を取り入れる等の対応策を考えながら頑張ってもらっている。</p>
委員	<p>利用者との対話が出来にくいという話を聞くためお聞きした。</p>
委員	<p>クローバー・サービスのヘルパー事業においても、利用者はヘルパーの訪問を待ってられる。ケアプランを見直すこともあるが、利用者負担も増加するため、サービス残業で対応するケースもある。そういった状況は統計には出てこない。</p>
委員	<p>60名余りが参加され、10年以上継続されてきた「みんな、おいデイ」等がなくなるのは何故か。</p>
委員	<p>クローバー・サービスが委託を受けていた事業であるが、送迎が困難になってきたということが1つにある。以前は、参加者の住居の近くで開催していたのが、中央公民館に統合される等により、時間内に集まっただき楽しんでもらうことが困難になってきた。そのため、職員が私用車を送迎に使用することがあったり、人材確保も困難になってきたという実態がある。</p>
委員	<p>そのような課題は今後も他の事業でも生じる可能性がある。今、送迎の課題について発言されたが、そういった課題について協議するためにこの委員会があると思われる。現在、シルバー人材センターは、送迎を伴う事業は実施していないが、送迎で困っているとあったことがあれば、廃止されるまでに情報発信をして欲しかった。要望があれば、シルバー内でも協議するといったことも考えられた。そのための会議ではないか。行政から情報を提起することが大事ではないか。</p>
委員	<p>参加者は残念がられている。地域のサロンへ行けばよいのではないかという話もあるが、人間関係の繋がりをいったん切ってしまわなければならないため、残念に感じている方が多い。クローバー・サービス自身ももっと残念に思っている。</p>
委員	<p>竹野サロンへ来られている方からも残念という声を聞いている。</p>

委員	<p>もしも再開する場合は、どこが主導権を持つのか。60人余りの方が楽しみにされているのに、もう一度しようという機運にはならないのか。その機運を発信するのはどこになるのか。</p>
委員長	<p>「みんな、おいデイ」等の廃止について意見を出していただいているが、やはり送迎の課題があるということであるが。</p>
委員	<p>送迎に加え、場所の課題もある、公民館の館長が交代された場合には、事業への理解も変わる場合があったり、洋式トイレが一箇所のみのところに高齢者が何十人も集まるといったトイレ問題など、総合的な課題がある。</p>
委員長	<p>事業を実施する中では、やはり課題が出てくると思われる。そういった課題の対応策についても盛り込むのが、本来の計画である。総論では上手く事業が進んでいるように見えても課題が出てくるため、行政にも検討をお願いしたい。</p> <p>また、送迎など、何もかもボランティアで行う時代は終わろうとしているのではないか。事業は補助金がベースになっているため、低賃金で抑えられている場合が多いが、事業内容に見合った報酬を配当できるようにするなど、課題が一つ一つ解決できれば良いと考える。</p> <p>さらに、事業は、全て行政が負担して行うことでもない。利用者にも負担してもらうことも必要。無償は長続きしない。年金の受給年齢も遅くなるため定年後も働く人が増えると、事業に関わる人も減少してくる。</p> <p>このように色々な課題も提供いただき、様々な意見を出していただくことで、よいアイデアが生まれるのではないかと。</p>
委員	<p>福祉有償運送については、この地域の中ではなくてはならないサービスである。重点的に実施していくという姿勢を持たないと継続しない。</p> <p>また、「みんな、おいデイ」等の送迎に私用車を使用した場合、車のメンテナンスも個人負担になり、報酬が見合わない。それでもやると言ってくれる方もあったが、事業を継続する上で、様々なことの折り合いがつきにくくなってきたことも実態としてある。</p>
委員	<p>最近、福祉に対する町補助金が削減される方向にある。高齢者が頑張っている事業の補助金を何故削るのか。担当課長にも頑張ってください、そうではないということを発信して欲しい。利用者負担も求めていくことも必要である。</p>
事務局	<p>いわゆる総合事業の通所型サービスA事業については、介護保険の事業であ</p>

委員長	<p>り、国通知等に基づく単価設定となっており、町が自由に単価設定を行うことができないという点についてご理解をお願いしたい。その他の事業についても、福祉が後退しているということは思っておらず、今回の予算確保についても努力してきたところであり、ご理解いただきたいと考えている。</p> <p>課題等があれば、行政から提案してもらい、この委員会から要望書を出すといったことも検討してはどうか。そのような気持ちで、この委員会をリードしてもらいたい。基本は、京丹波町の中で、誰もが住み良い町にしていくということであり、その核となる委員会でもあるため、頼ってもらったら良いと考える。</p>
委員	<p>介護予防事業は撤退することとなったが、認知症カフェの利用者が増えている。午前・午後各 200 円を 300 円へ値上げしたとしても採算は取れないが、負担しても利用したいと思われている方は多い。京都府内でも認知症カフェをさせているが、行政が実施しても参加者が集まらない。先日、府内の認知症カフェの報告会があったが、毎回、認知症の当事者が参加されているのは、京丹波町の認知症カフェのみであった。課題はあり、運営は大変であるが、居場所づくりは重要であり頑張りたいと考えている。後退していることばかりでなく、京丹波町の頑張りに対し、評価もいただいている。実態として知っておいていただきたい。</p>
委員長	<p>京丹波町の中で様々な事業所に頑張ってもらっており、みんなの幸せに近づいているということであるが、時代と共に様々な課題もある。今後ご意見等いただきたい。</p>
事務局	<p>協議事項（3）その他</p> <p>※連絡事項等</p> <p>①平成30年度の委員報償費の支払いについて後日通知を行う旨を連絡 ②委員会議事録の町ホームページへの掲載について了承を依頼</p>
委員長	<p>委員会議事録については、今後も事前に内容確認の連絡をお願いしたい。</p>
委員長	<p>協議終了</p> <p>任期満了にあたってのお礼</p>
事務局	<p>任期満了に係るお礼及び次年度以降の委員選任等を依頼</p>

4. 閉会（副委員長あいさつ）

本日のお礼。

前半には、計画に基づく事業内容の確認を行い、事業の振り返りの大切さについて認識をした。

後半では、地域の実情や組織の実態から、継続できない事業が出てきている中で、そういった場合には、事前にこの委員会で、助けて欲しいなど、課題等を出してもらい、協議を行うのがこの委員会の役割ではないかという意見をいただいたが、本当にそうであると感じた。地域包括とは、色々な立場で助け合いながら、京丹波町を良くしていくということが必要である。今回で委員の任期は満了となるが、今後においても、それぞれの立場で課題等も出していただき、協議を行える委員会にしていかなければと考える。

また、助けて欲しいと言われた際に、助けることができる余力が必要である。自分が所属する団体の事業も振り返りながら、いかに助け合えるかというところも課題であるが、共同で助け合うことも重要である。

今後も、さらに、京丹波町が発展していけるようご協力等をよろしくお願いしたい。本日もありがとうございました。